

# 「海」 ～あらためて気づく大切なもの～

濱下 杏奈さん  
(Uターン)



## 紹介

下蒲刈町で生まれ育ち、大学進学の際に広島市に転出しました。その後、就職のため2年間京都へ。結婚を機に、下蒲刈町へUターンしました。現在は「島の屋」「丸谷カフェ」を経営しています。



「島の屋」で作られたジャム

## 移住のきっかけ

結婚です。

結婚することが決まったとき、“これからどんな暮らしをしていきたいのか”ということを考えました。その結果、自分が望む生活は、“海が見える場所”で、“自給自足の生活”をすることだと気がつきました。

夫も呉市出身だったので、2人で話をして、地元に戻ることにしました。

## 移住してよかったこと

### ・食べ物が美味しいこと

畑で採れたばかりの野菜や釣ったばかりの新鮮な魚、もぎたての果実を食べると、本当に美味しい！スーパーで売られているものとは、やはり味や食感が違います。これは、本当によかったです。



### ・海が近いこと

小さい頃から海の近くで育ったので、海を眺めると気持ちがりフレッシュできます。都会にいたときは近くに海がなかったので、少し窮屈な感じがありましたが、いまはとてものびのびできています。



## 苦勞したこと

「丸谷カフェ」をオープンするまでは大変でした。

帰ってきたときは起業するつもりはありませんでしたが、どんどん人口が減っていくのをどうにかしたい思いと、「ゆっくりできる場所があれば…」という観光客や地元のおばあちゃんの声を受け、カフェ経営を考え始めました。

でも“島”でやって大丈夫なのか、ずっと悩んでいました。

そんな時に、「[島のにぎわい拠点](#)」という呉市の起業支援策を知りました。応募してみたらなんと合格。もう“やるしかない！！”と、覚悟が決まりました。

カフェを始めてから、地元の人だけでなく市外の方も来てくれるようになりました。みんなが集まって、嬉しそうにしている姿を見ていると“やってよかったなあ”と思います。



## メッセージ

ぜひぜひ！ウェルカムです！！

島の方は、少し口調がきついこともあります。温かい人ばかりです。ただ、都会なら、ほしいものはすぐに何でも手に入れることができると思いますが、島ではお肉や乳製品等の島で作れないものは本土のスーパーまで買いに行く必要があったり、夜は外食できるお店がなかったりします。最初は不便を感じるかもしれませんが、都会とは違う生活環境を楽しんで、工夫していけばいいと思います。

仕事は、探せばあると思います。ただ、「本土へ仕事に行く」のか、「島内で仕事をす

る」のか。それによって生活スタイルが異なってくると思います。  
まずは“どんな生活がしたいのか”を明確にすることから始めてみると、見えてくるものがあるかもしれません。

♥ LOVE 移住者さんは“これが好き” ♥ LOVE



ここへ来ると心が落ち着きます。



レモンで味わう「島そば」。



島でしか味わうことのできない  
空間と食を提供します。